

国際土木委員会設置報告

2017/12/19

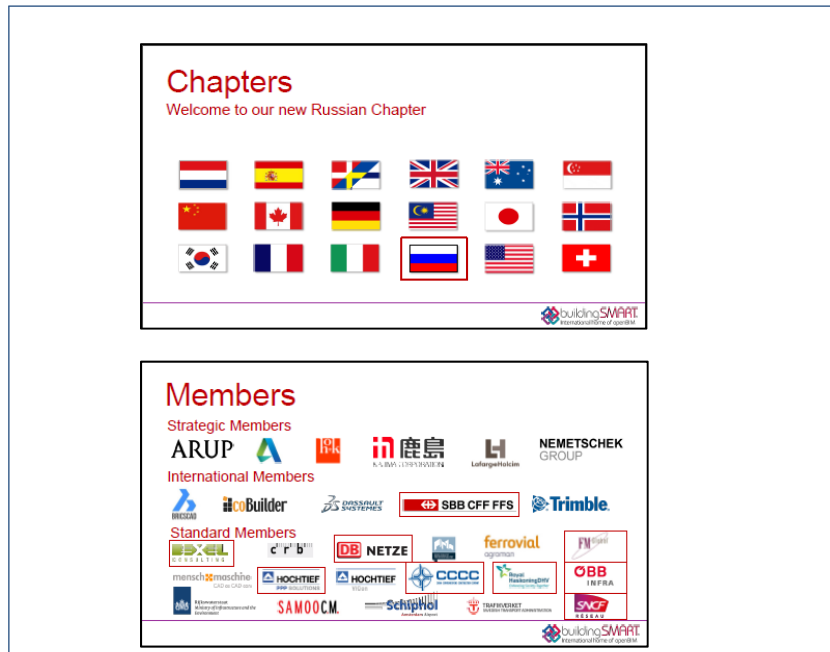
国際土木委員会

buildingSMARTとは

- buildingSMART International (bSI)

建物のライフサイクルを通して、利用するソフトウェア間で、有効な相互運用を可能にするため、標準化されたデータモデルの仕様を作成し、国際的に標準化を進めている民間団体です。

- 18支部(国・地域)
- 民間企業24社が出資
うち、日本企業1社

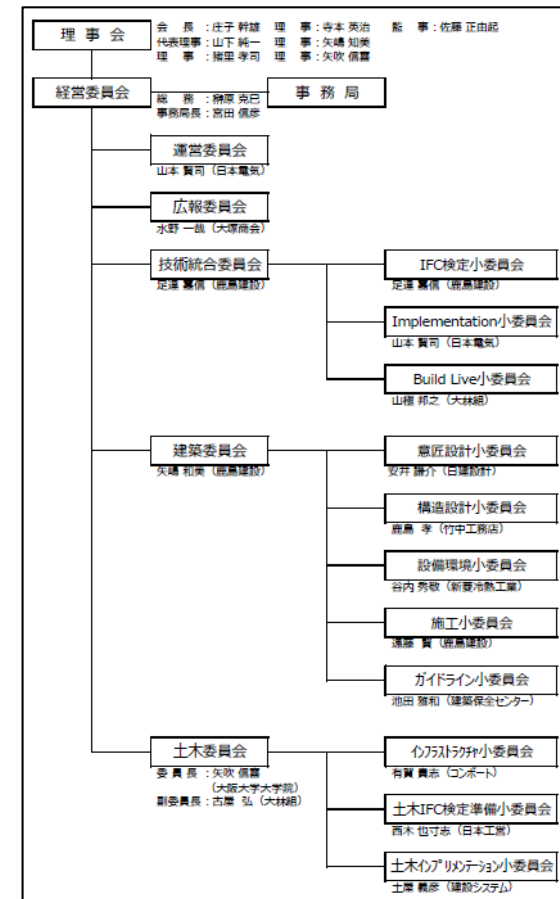


buildingSMART International “International Summit – London, UK 2017” 配布資料から

2017/12/19

- buildingSMART Japan (bSJ)

buildingSMART の、日本の支部組織です。

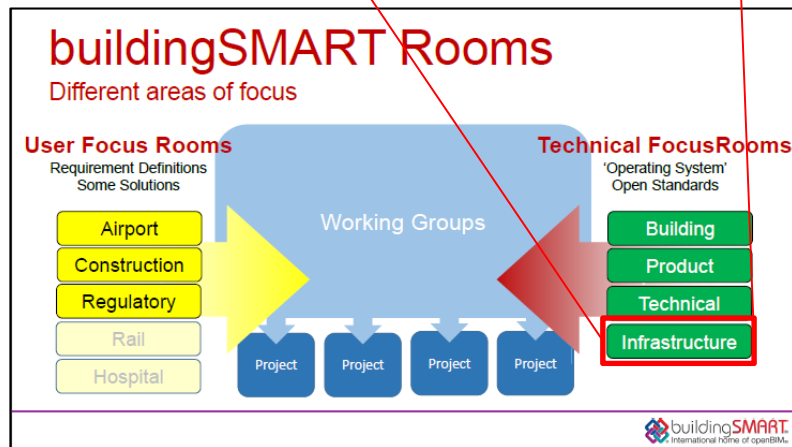


buildingSMART Japan ウェブサイト から

http://www.building-smart.jp/organization/organization_index.php

InfrastructureRoom

Infrastructure

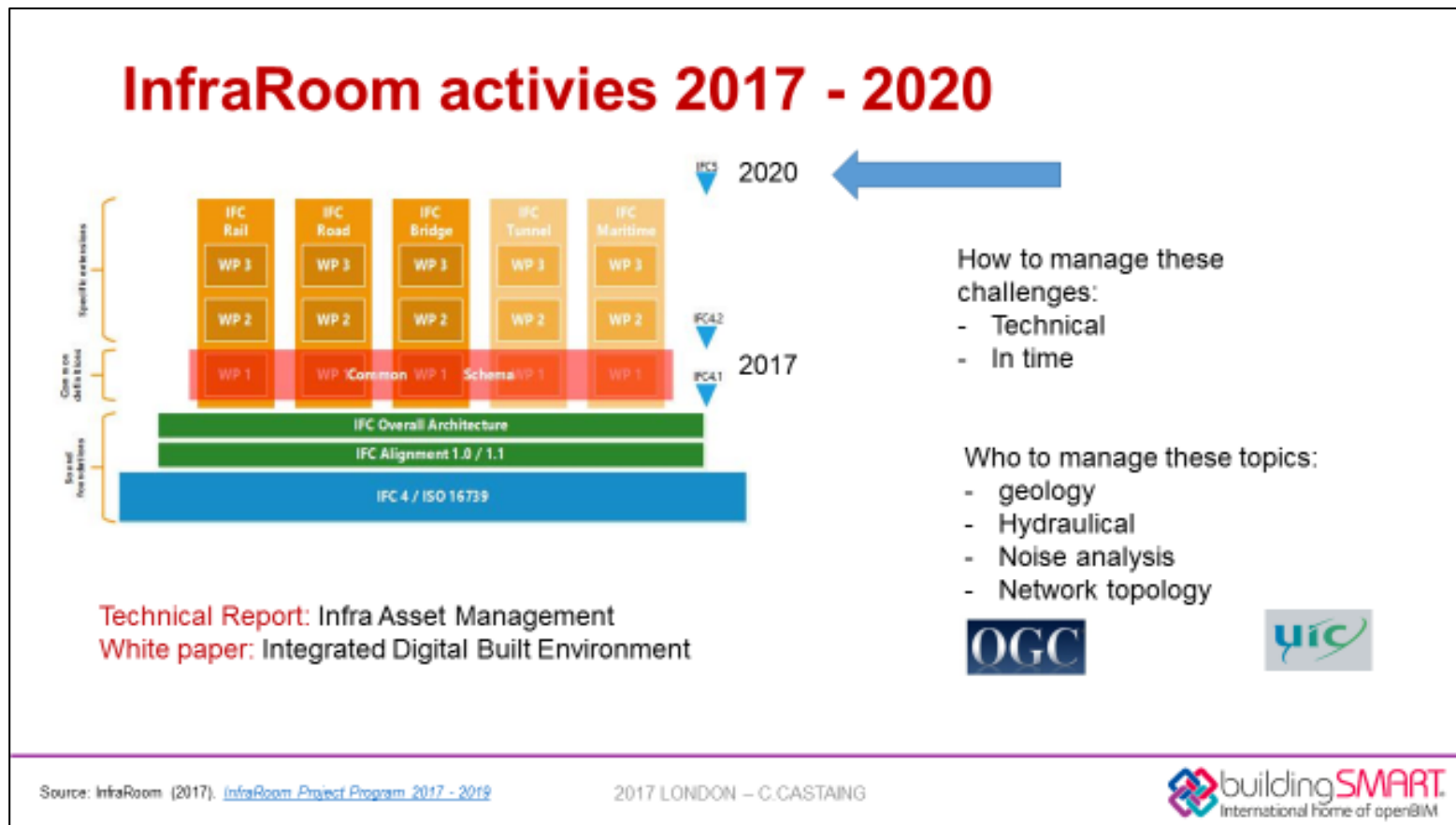


buildingSMART International "International Summit – London, UK 2017" 配布資料から

検討テーマ	日本の参画状況
Alignment (中心線形)	Expert Panelに参加
ROAD (道路)	Expert Panelに参加 韓国でのライブミーティングに参加
Bridge (橋梁)	MOUを締結しProject Teamに参加 Expert Panelに参加
Tunnel (トンネル)	バルセロナでのクローズドミーティング、 ノルウェーでのITAとの ジョイントミーティングに参加
Rail (鉄道)	未
Common Schema (共通スキーマ)	未
Harbour & Ports (港湾)	SCOPEがExpert Panelに参加
Asset Management (資産管理)	未
Linked Data (オントロジ言語)	未

InfrastructureRoomの展望

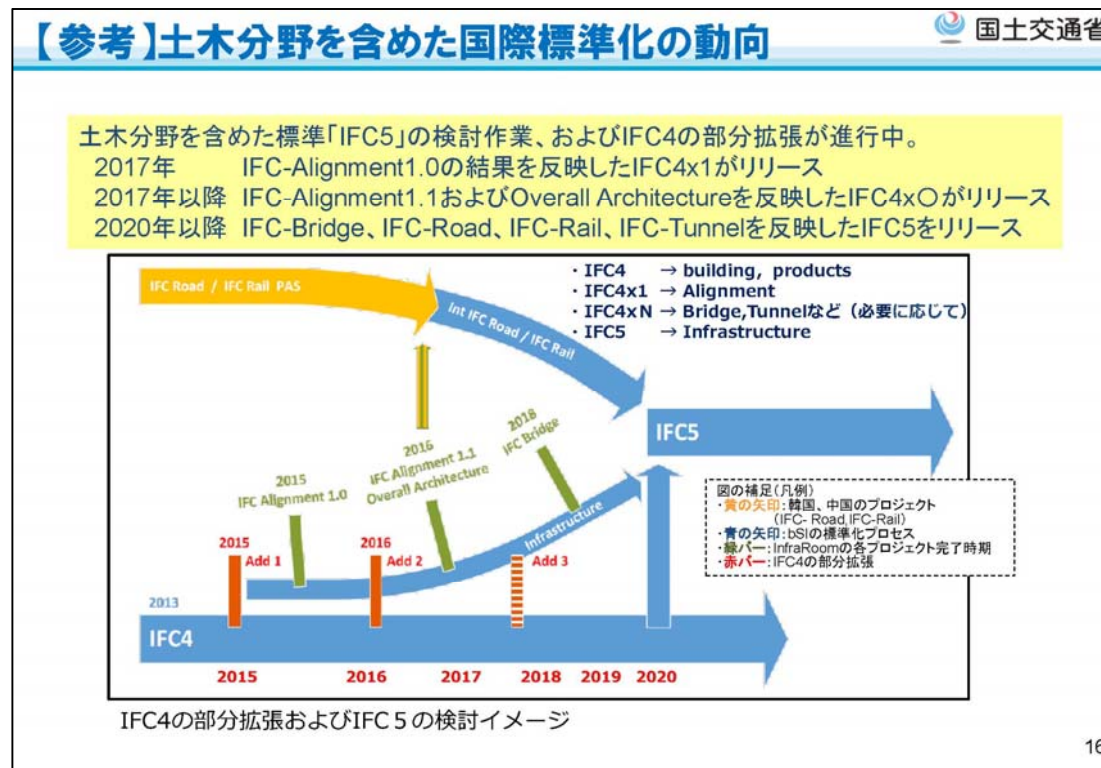
- インフラ全般に関する全プロジェクトモデルの共通要素の検討を横断的に行い、共通スキームとなる統合モデル（Overall Architecture）を最適化するために、IFC-Road, IFC-Rail, IFC-Bridgeなどの先行するプロジェクトで重複する要素が定義されていることからこれらを整理してIFC4からIFC 5への展望イメージとしている。



buildingSMART International “International Summit – London, UK 2017” 配布資料から

InfrastructureRoomの展望(2)

- IFC (Industry Foundation Classes)とは、bSIが策定している3次元データモデルの仕様 (ISO-STEPに基づく建築構造物のプロダクトモデルの仕様)
- IFC4の部分拡張およびIFC 5 の検討イメージ



国土交通省 第4回CIM導入推進委員会 (平成29年8月8日)資料 資料3より
<http://www.mlit.go.jp/common/001197209.pdf>

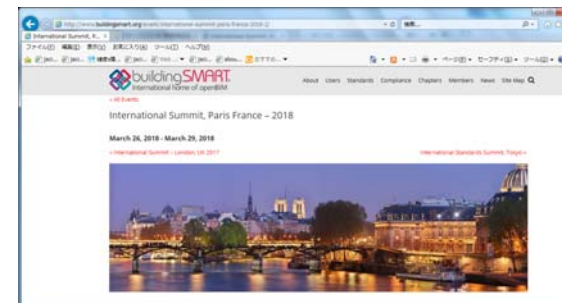
BIM for Infrastructure と CIM

- BIM (Building Information Modeling)
- CIM (Construction Information Modeling/Management)
- CIM (和製英語) は、国内政策向け
- 海外では BIM for Infrastructure

国内政策と国際標準化のマッチングが必要

国際会議の報告

- 2017/10/30-11/2開催
 - 10/30 全体会議
 - 10/31-11/1 各ROOM(分科会)
 - 11/2 全体会議
- 英国ロンドン
 - Institute of Engineering & Technology
- 参加者総数330人
 - うちInfrastructureRoomは、95人
 - 国際土木委員会
 - (委員長 事務局 計6名)
- InfrastructureRoom
 - 9分科会の報告・審議
- 今後の予定(右参照)
 - 2018/3/26-29 フランス・パリ
 - 2018/10/16-19 日本・東京



buildingSMART International Webサイトから

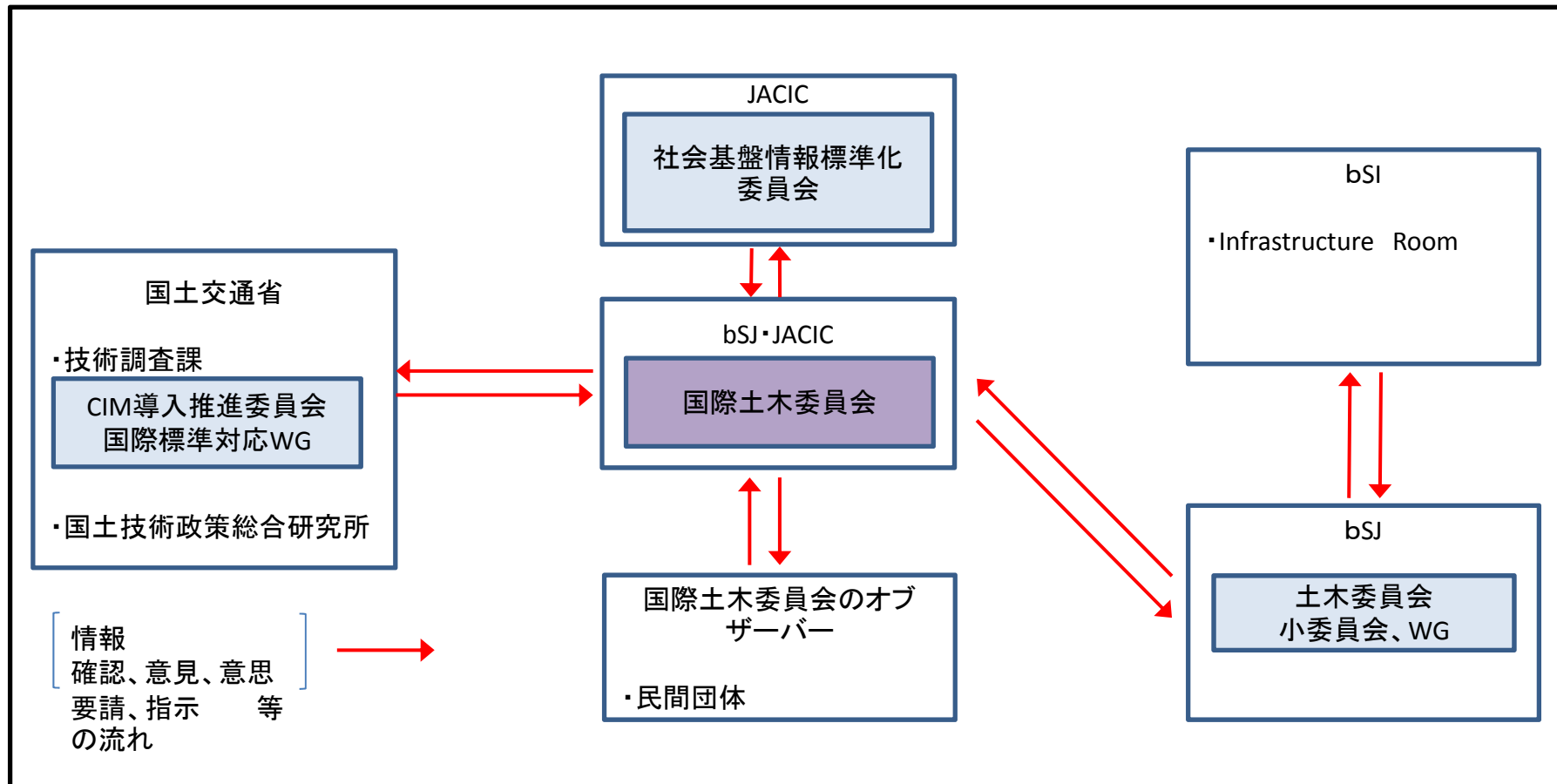
上段:今回 <http://www.buildingsmart.org/event/international-summit-london-uk-2017/>

中段:次回 <http://www.buildingsmart.org/event/international-summit-paris-france-2018/>

下段:次々回 <http://www.buildingsmart.org/event/international-standards-summit-Tokyo>

国際土木委員会の設置

- ・第1回国際土木委員会の開催はおおむね12月頃を予定
(毎年春秋の2回開催される「buildingSMART International」(以下「bSI」という。)のStandards Summit(国際会議)の開催後1~2か月程度後に開催することを予定)



国際土木委員会の役割

- bSI国際会議後の情報共有、分野共通事項等の方針検討の場

国内の各分野共通で情報共有、日本としての共通分野の方針検討（調整、方針合意）

- bSIからbSJを経由してくる情報、要請等の国内関係者への伝達、調整機能

bSIからbSJを経由してくる情報、要請等に対して、国内関係者の共有化と、国内関係者への要請等への対応、協力等の依頼、国内関係者の対応等のbSJへの返答などを実施

- CIM導入推進委員会国際標準対応WG等とbSJ(bSI)との連絡調整機能

【標準的な手順】

- ①国際土木委員会が窓口として、作業はbSJ土木委員会（インフラストラクチャ小委員会WG）へ依頼
- ②成果品について客観性、公正性等の観点から社会基盤情報標準化委員会で審議
- ③国際土木委員会を経由して国際標準化対応WG等に成果品提示